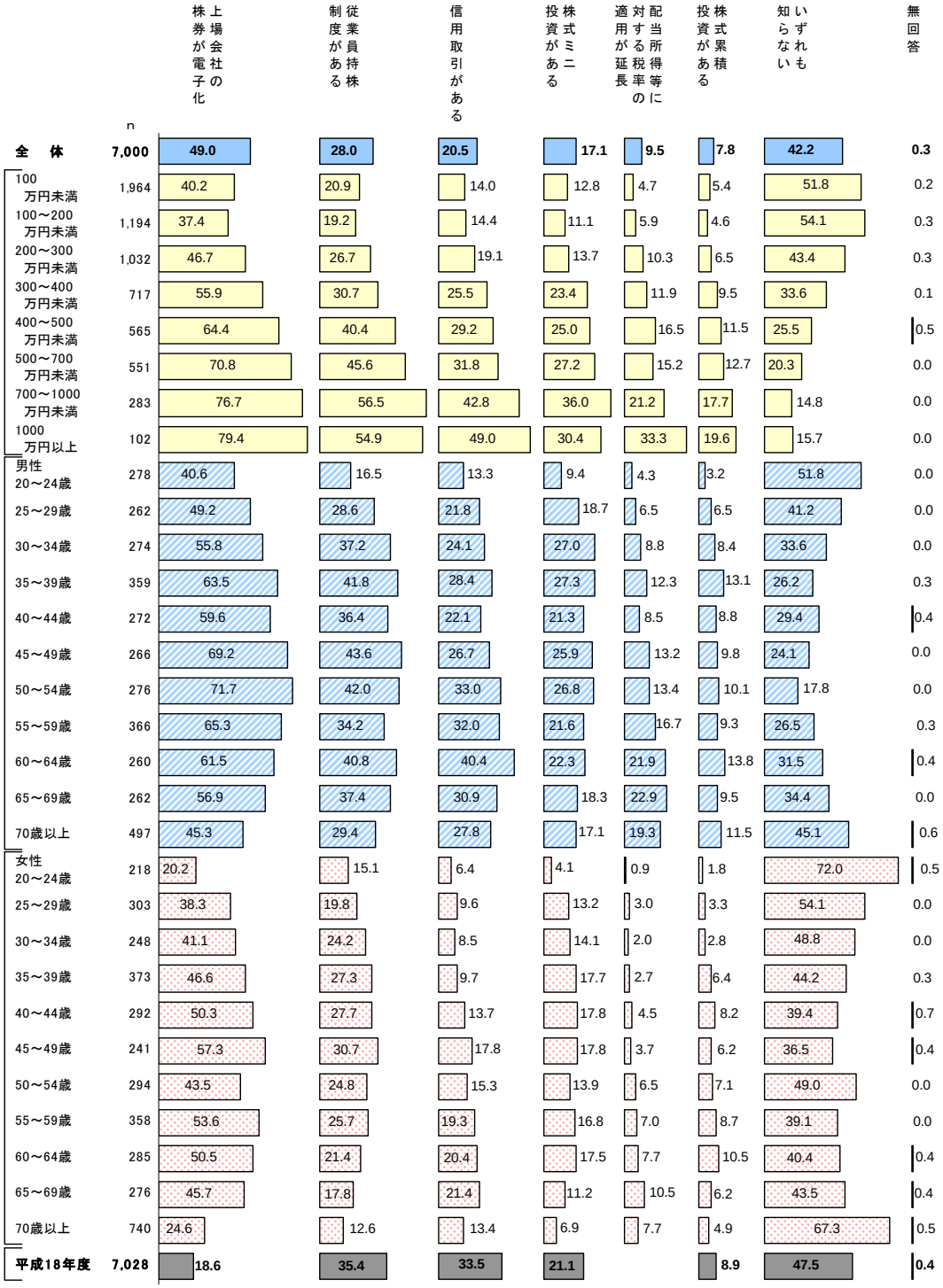
(1) 株式制度の認知状況（複数回答）（問８）

- 株式についての制度や動きの認知を６項目について尋ねたところ、「いずれも知らない」が 42.2%である。知っているものの中では、「上場会社の株券がペーパーレス化（電子化）されたこと」の認知が 49.0%と最も高く、以下「従業員持株制度」（28.0%）、「信用取引がある」（20.5%）、「株式ミニ投資がある」（17.1%）が続く。いずれの制度も、年収が多いほど認知率が高い傾向がみられる。「上場会社の株券がペーパーレス化（電子化）されたこと」は、前回が電子化前の時期だったこともあり、今回大幅に上昇した。
- 証券の電子化について性・年代別にみると、男性は 50～54 歳の認知率が最も高く、低年齢・高年齢になるほどそれぞれ認知率が下がる傾向となっている。女性は男性に比べ認知率が低い。

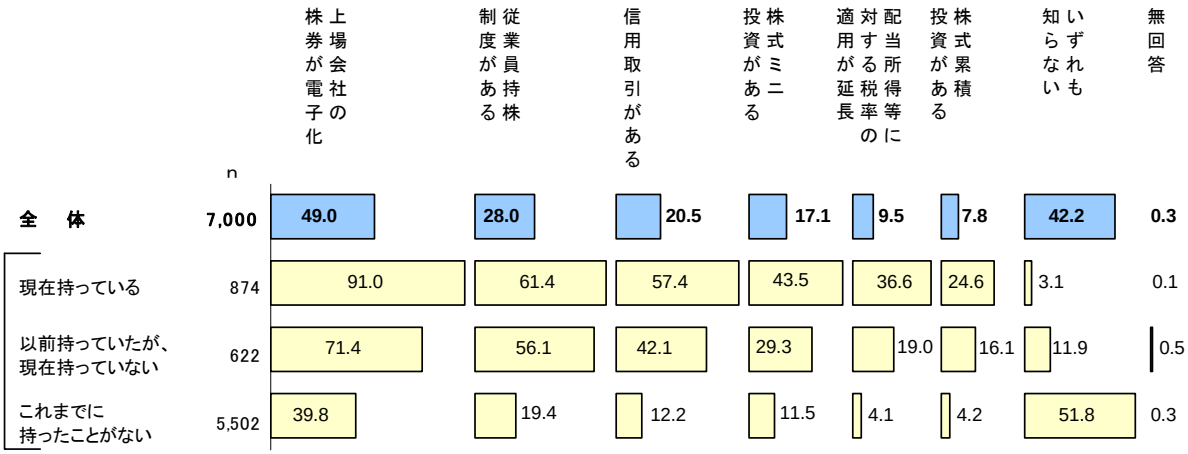
図表 4-1　株式制度の認知状況（複数回答）（問８）／年収、性・年代別



*今回（H21）調査よりカテゴリー追加あり。
「上場株式等の配当所得及び譲渡所得等に対する税率の適用期限が平成 23 年末まで延長されたことを知っている」

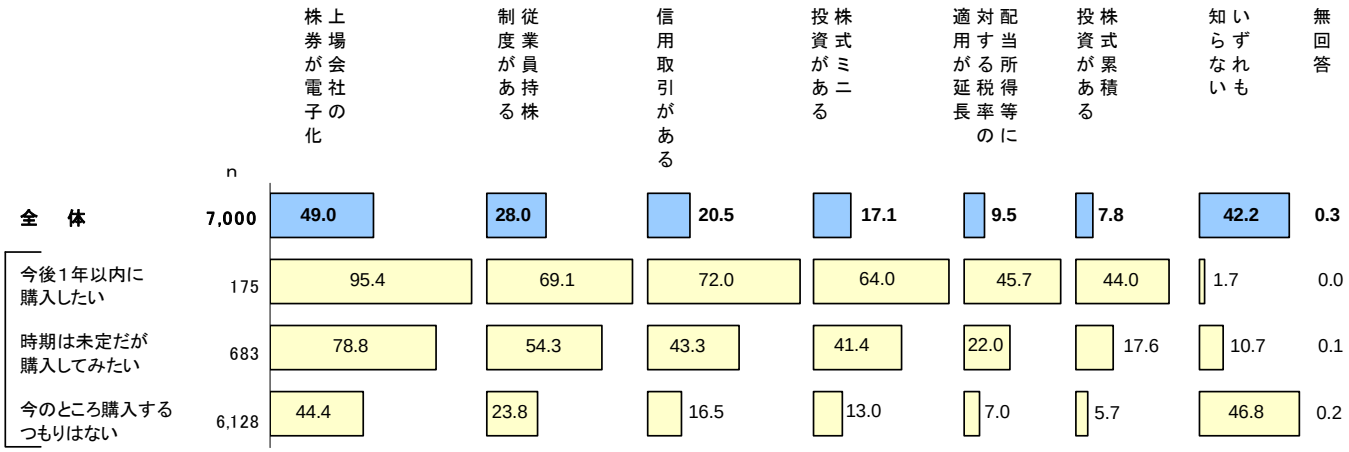
● 株式の保有状況（問 10）との関係でみると、全般的に、現在保有者の認知度数が高い。一方、保有経験がない人の認知率は低く、保有経験がない人は「いずれも知らない」が５割を超えている。

図表 4-2　株式制度の認知状況（複数回答）（問８）／株式の保有状況別（問 10）



● 株式の購入意向（問９）との関係でみると、購入意向が高い人ほど、全般的に認知度が高い。今のところ購入するつもりはない人の 46.8%は「いずれも知らない」と答えている。

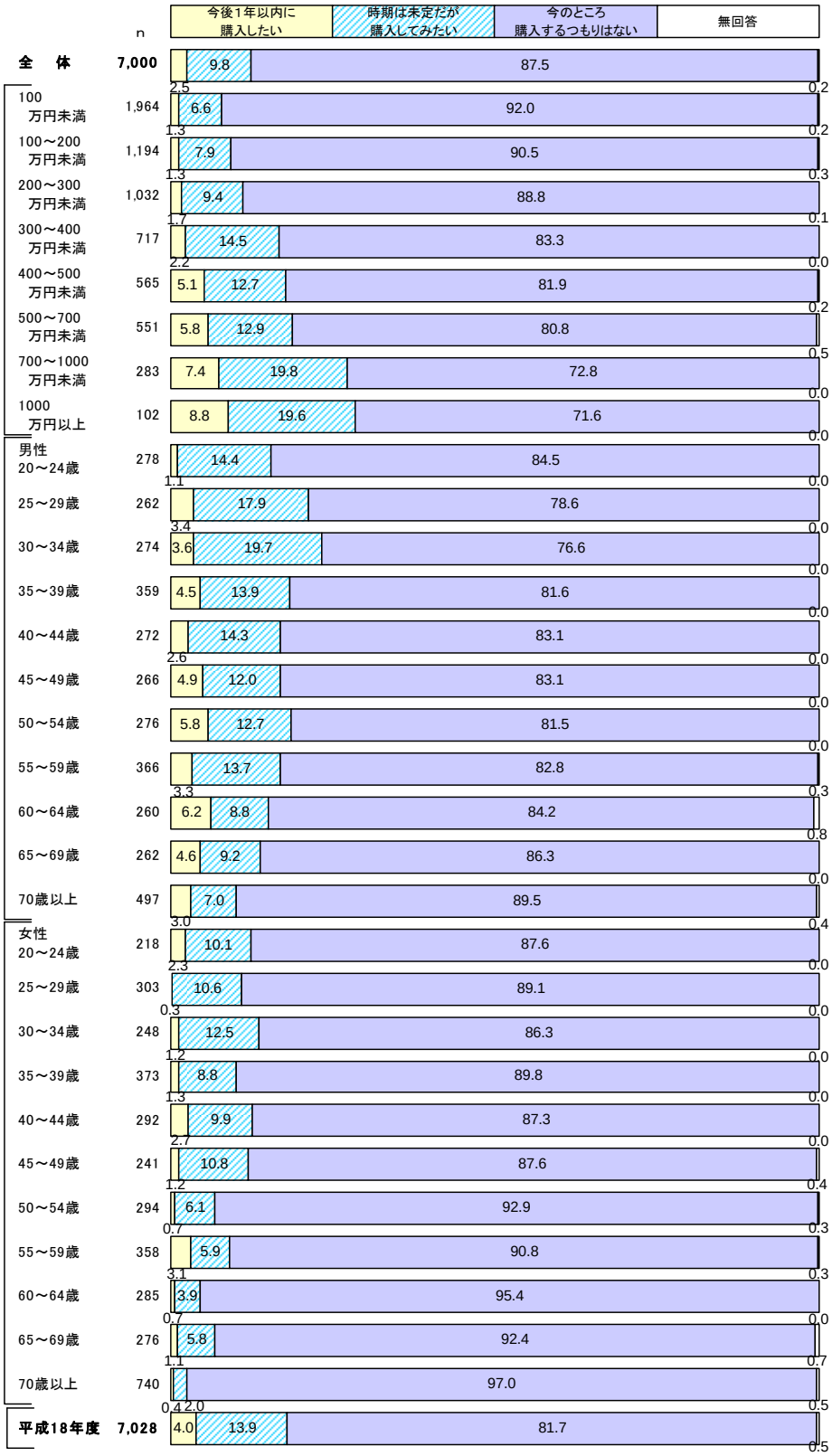
図表 4-3　株式制度の認知状況（複数回答）（問８）／株式の購入意向別（問９）



(2) 株式の購入意向（問９）

- 株式の購入意向については「今のところ購入するつもりはない」が 87.5%と大部分を占め、「時期は未定だが購入したい」が 9.8%、「今後１年以内に購入したい」は 2.5%に過ぎない。「１年以内」「時期未定」ともに、年収が多いほど「購入したい」が高い傾向で、年収 700 万円以上では、４分の１以上の人が購入意向を示している。前回と比較すると、購入意向は減少している。
- 性・年代別でみると、「購入したい」が高いのは男性で、男性 30～34 歳が最も高い。

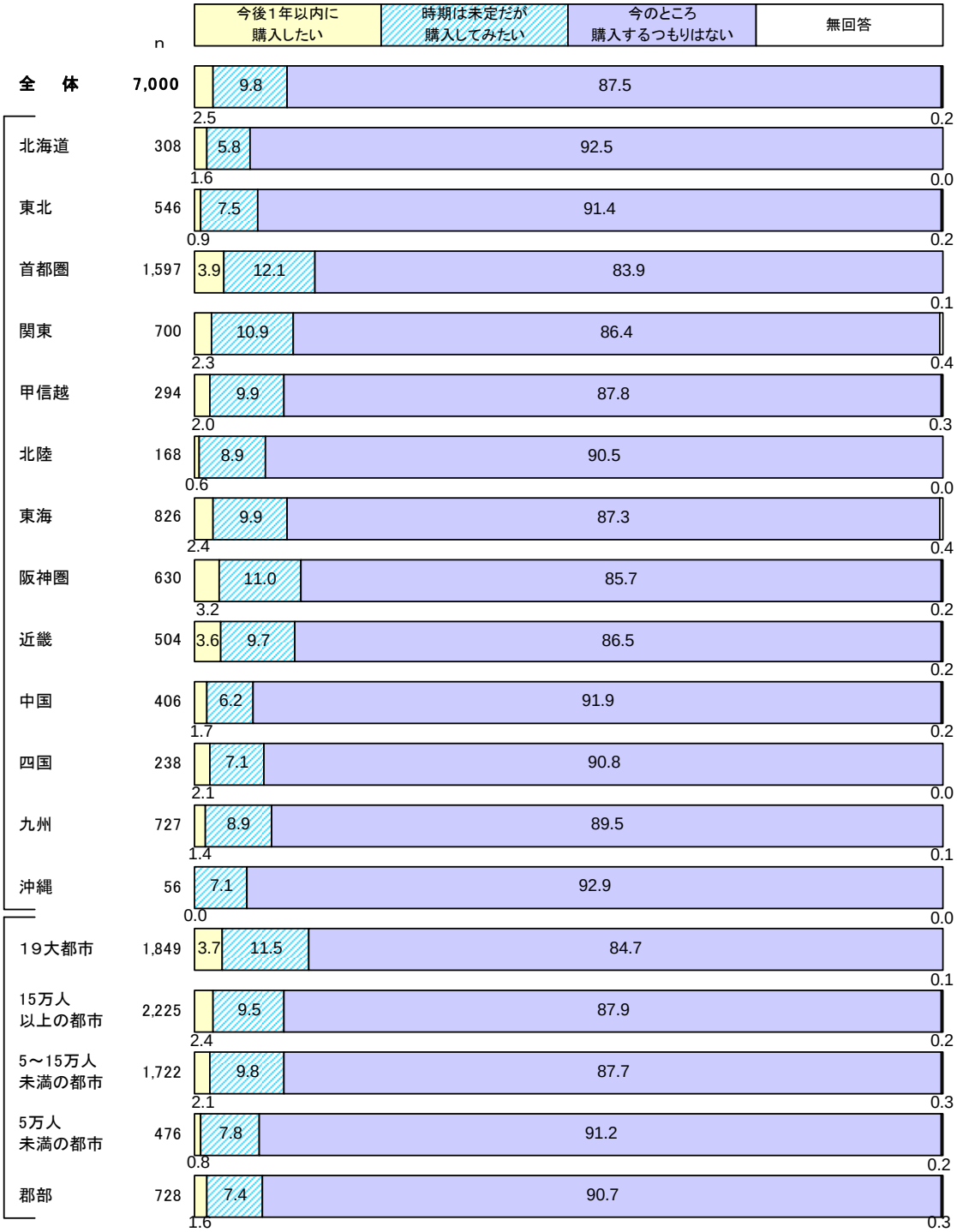
図表 4-4　株式の購入意向（問９）／年収、性・年代別



*今回（H21）調査より下線部に変更あり。
前回「近いうちに購入したい」、今回「今後１年以内に購入したい」

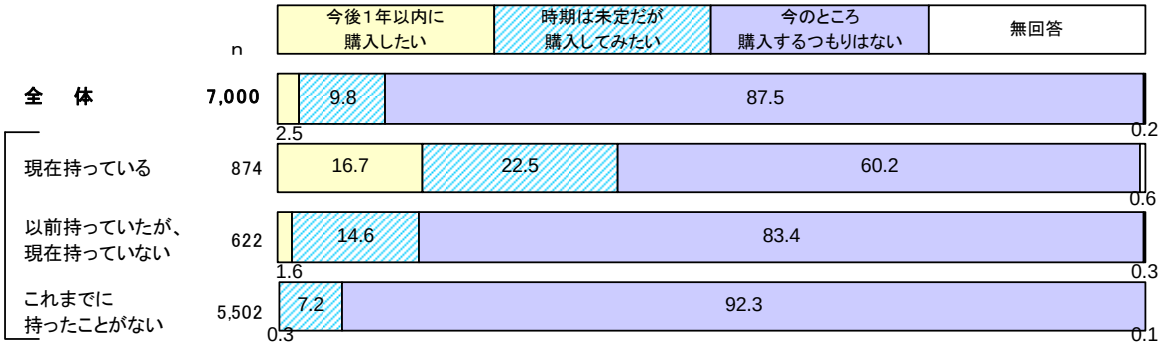
● 地域別にみると、「今後１年以内に購入したい」は、最も高い首都圏でも 3.9%に過ぎない。「時期は未定だが購入してみたい」まで含めても、最も高い首都圏で 16.0%に留まる。

図表 4-5　株式の購入意向（問９）／地域・都市規模別



- 株式の保有状況（問 10）との関係でみると、現在保有者は「今後１年以内に購入したい」が 16.7%と高く、「時期は未定だが購入してみたい」を含めると約４割となる。
- 保有経験がない人は、「今のところ購入するつもりはない」が９割強を占める。

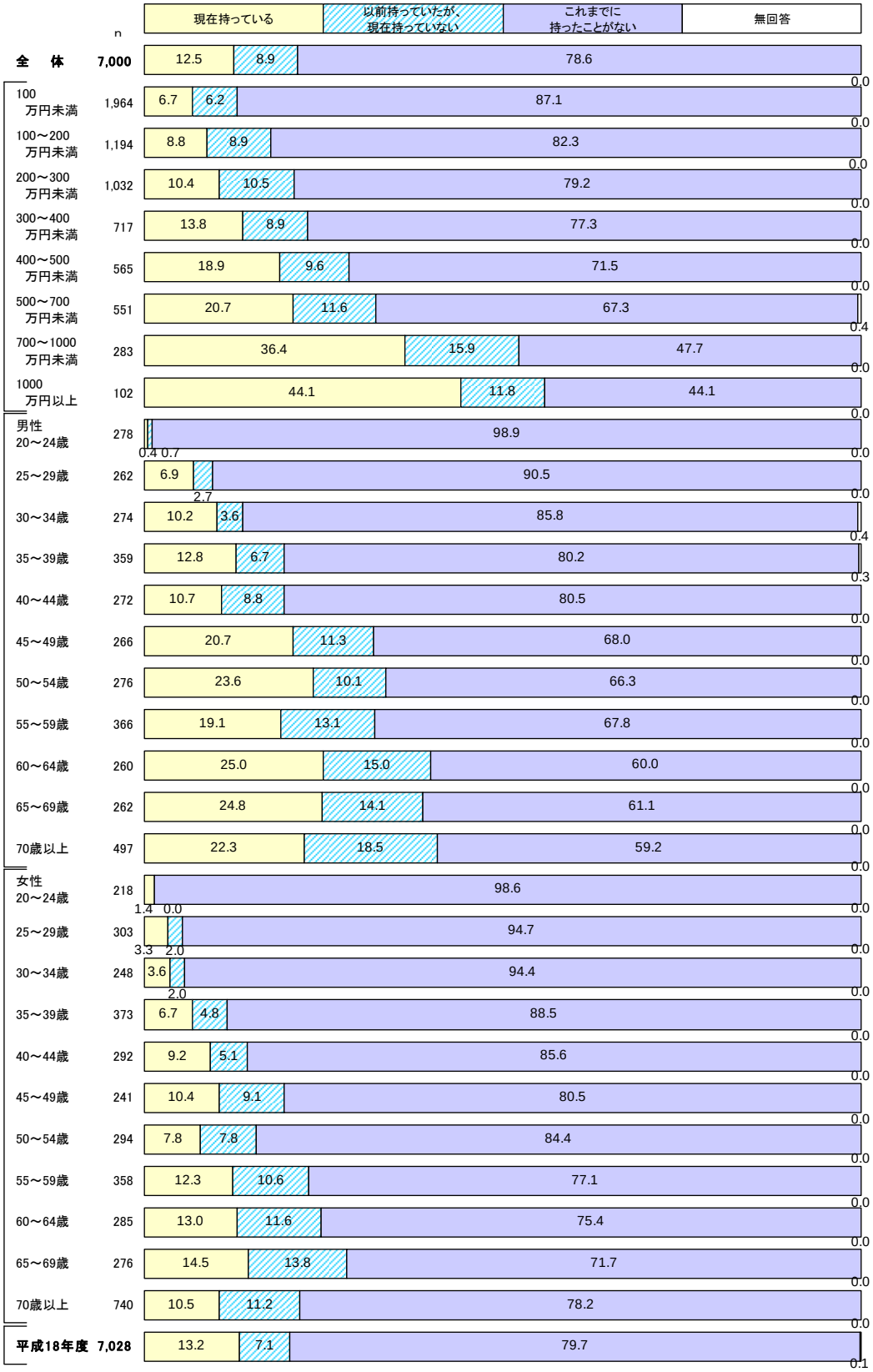
図表 4-6　株式の購入意向（問９）／株式の保有状況別（問 10）



(3) 株式の保有状況（問 10）

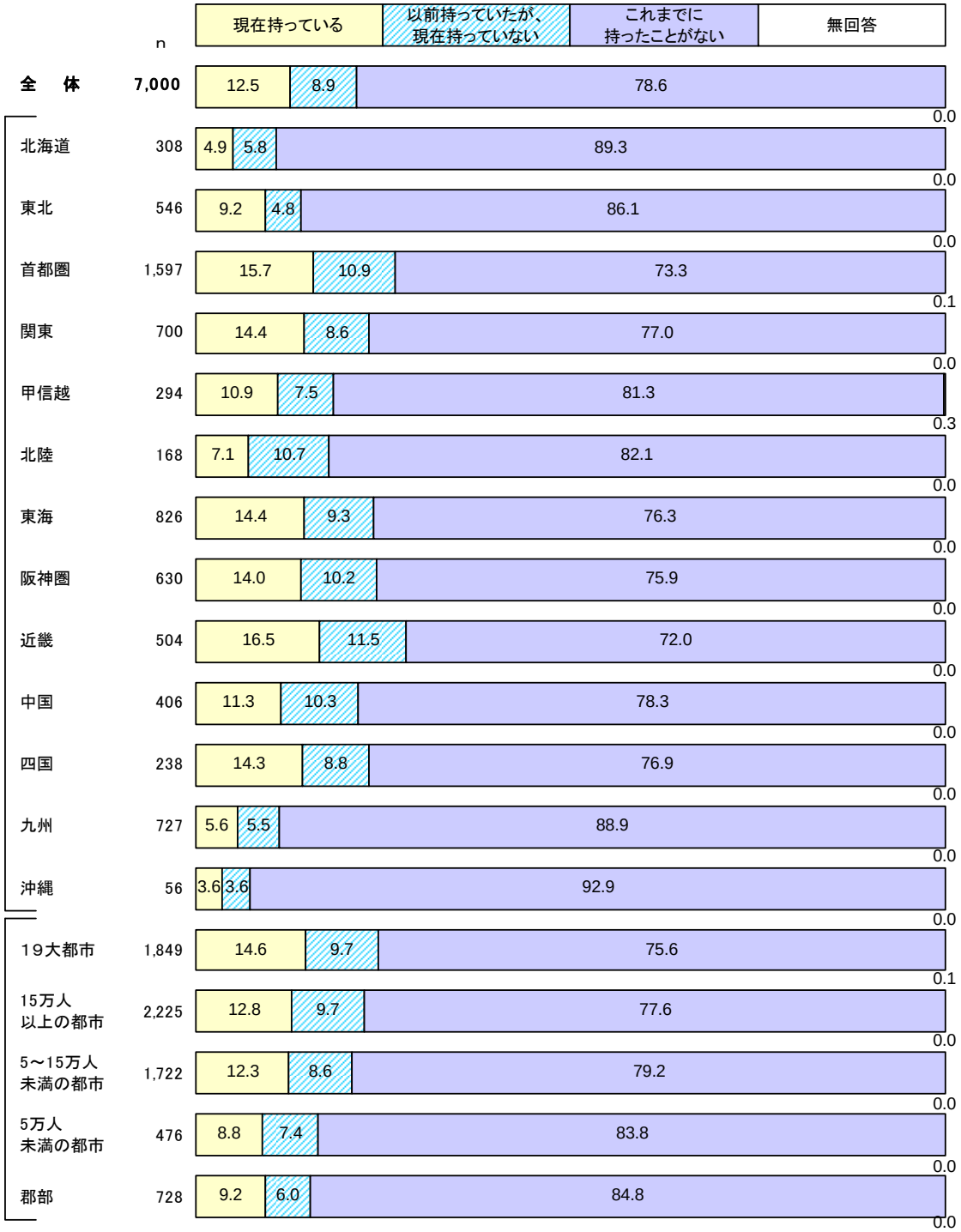
- 株式の保有状況をみると、「現在持っている」が 12.5%、「以前持っていたが、現在は持っていない」が 8.9%で、両者を合わせると２割強である。現在保有率 12.5%を平成 17 年国勢調査の 20 歳以上人数（103,196,039 人）に乗じると、株式を現在保有している 20 歳以上の人は約 1,290 万人と推計できる。前回に比べ、「以前持っていたが、現在は持っていない」が増加した。
- 年収別では、年収が多いほど現在保有率が高い。また、男性は 45 歳以上で現在保有率が高い。女性は男性に比べると現在保有率は低い。

図表 4-7　株式の保有状況（問 10）／年収、性・年代別



● 地域別でみると、全体に比べて首都圏、近畿で現在保有率が高い。

図表 4-8　株式の保有状況（問 10）／地域・都市規模別

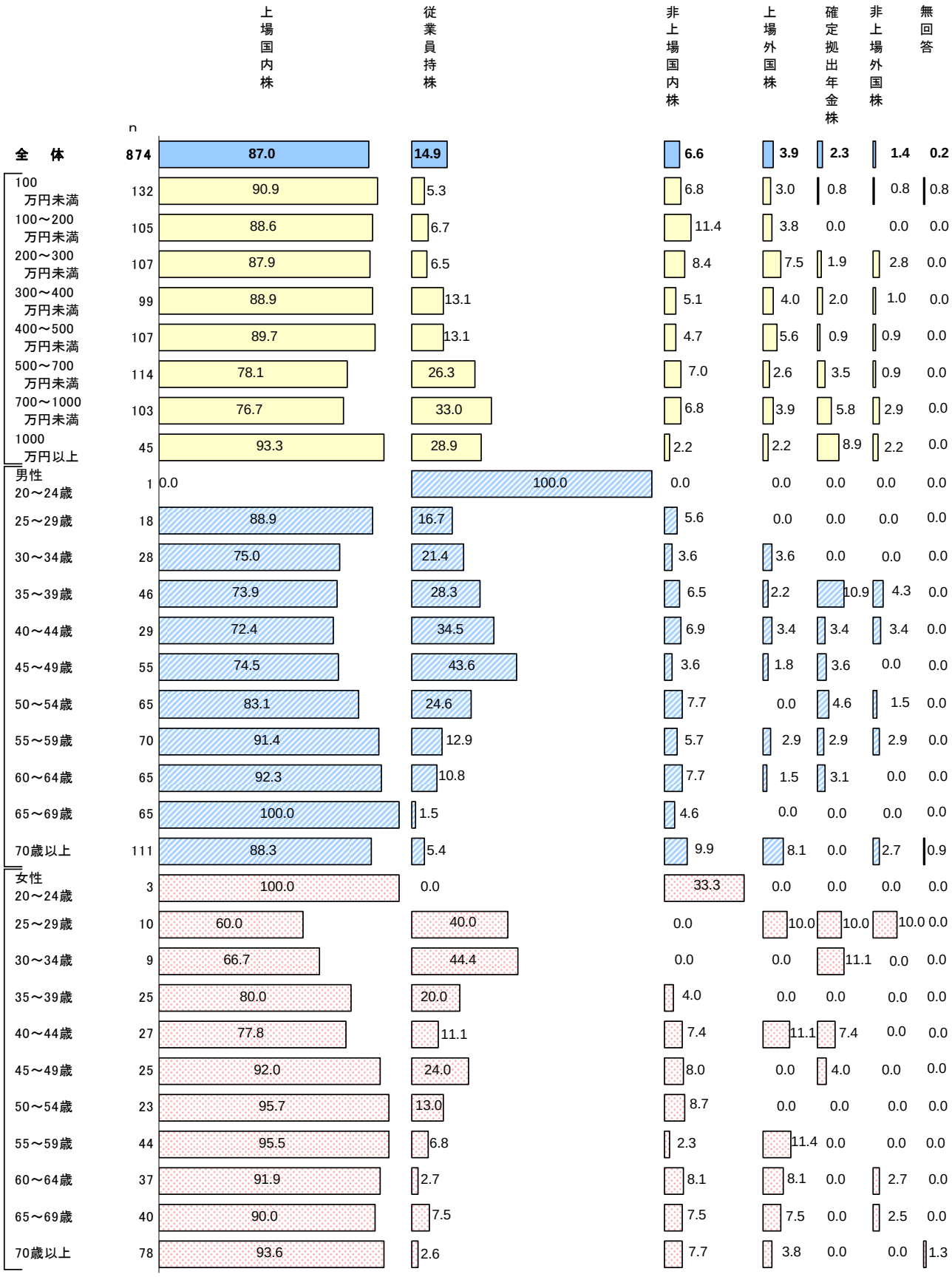


(4) 現在あるいは以前保有の株式種類（複数回答）（問 10-1、問 10-2）

● 現在持っている株式の種類についてみると、「国内の証券取引所に上場されている国内株」が 87.0%と最も高い。以下、「従業員持株制度で管理されている株式」が 14.9%、「証券取引所に上場されていない国内株」が 6.6%など。

*前回は、現在保有と以前保有を区別していなかったため時系列はなし。

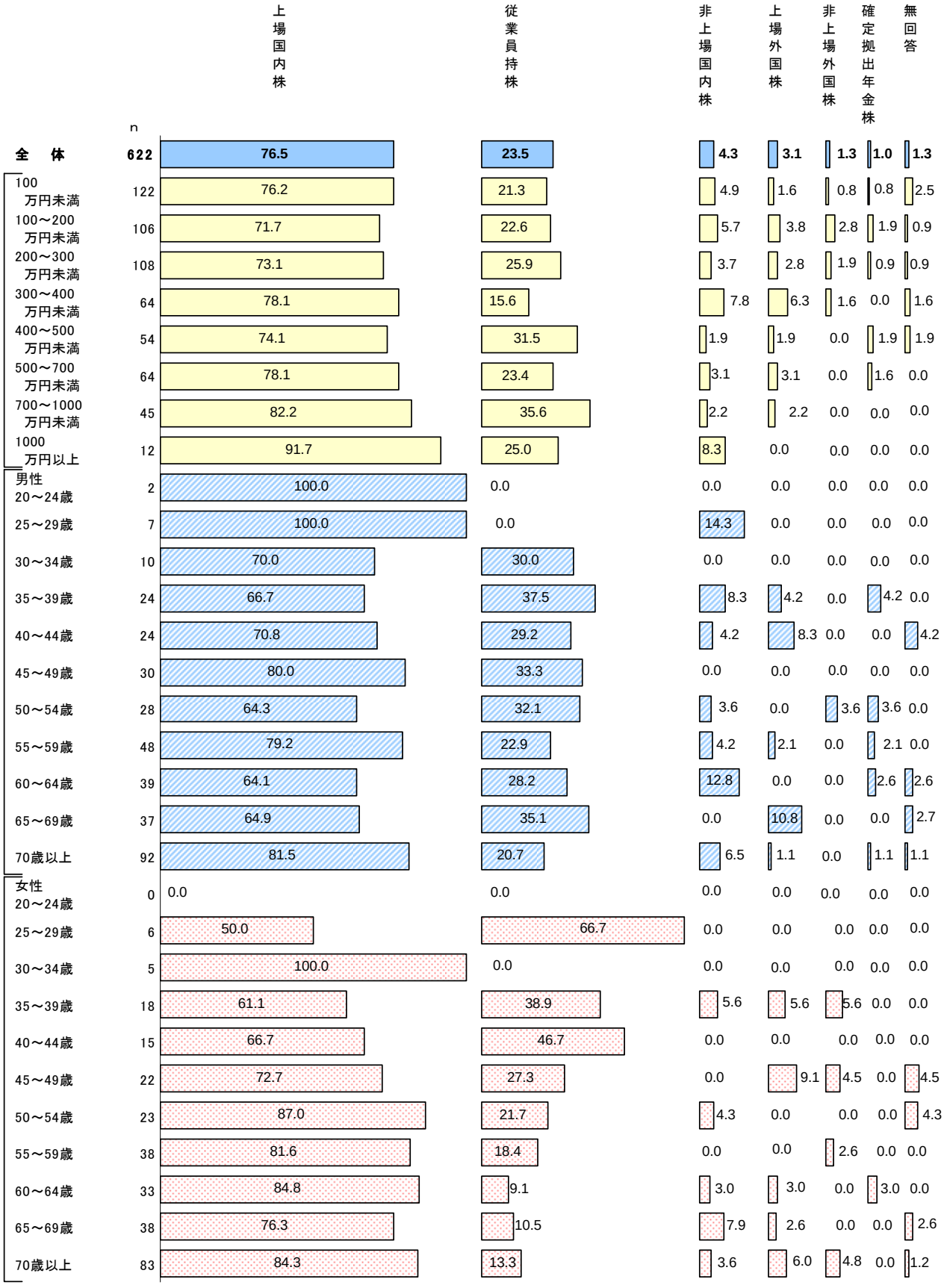
図表 4-9　現在保有の株式種類（複数回答）（問 10-1）／年収、性・年代別



● 以前持っていたが、現在は持っていない株式の種類についてみると、「国内の証券取引所に上場されている国内株」が 76.5%と最も高い。以下、「従業員持株制度で管理されている株式」が 23.5%、「証券取引所に上場されていない国内株」が 4.3%など。

*前回は、現在保有と以前保有を区別していなかったため時系列はなし。

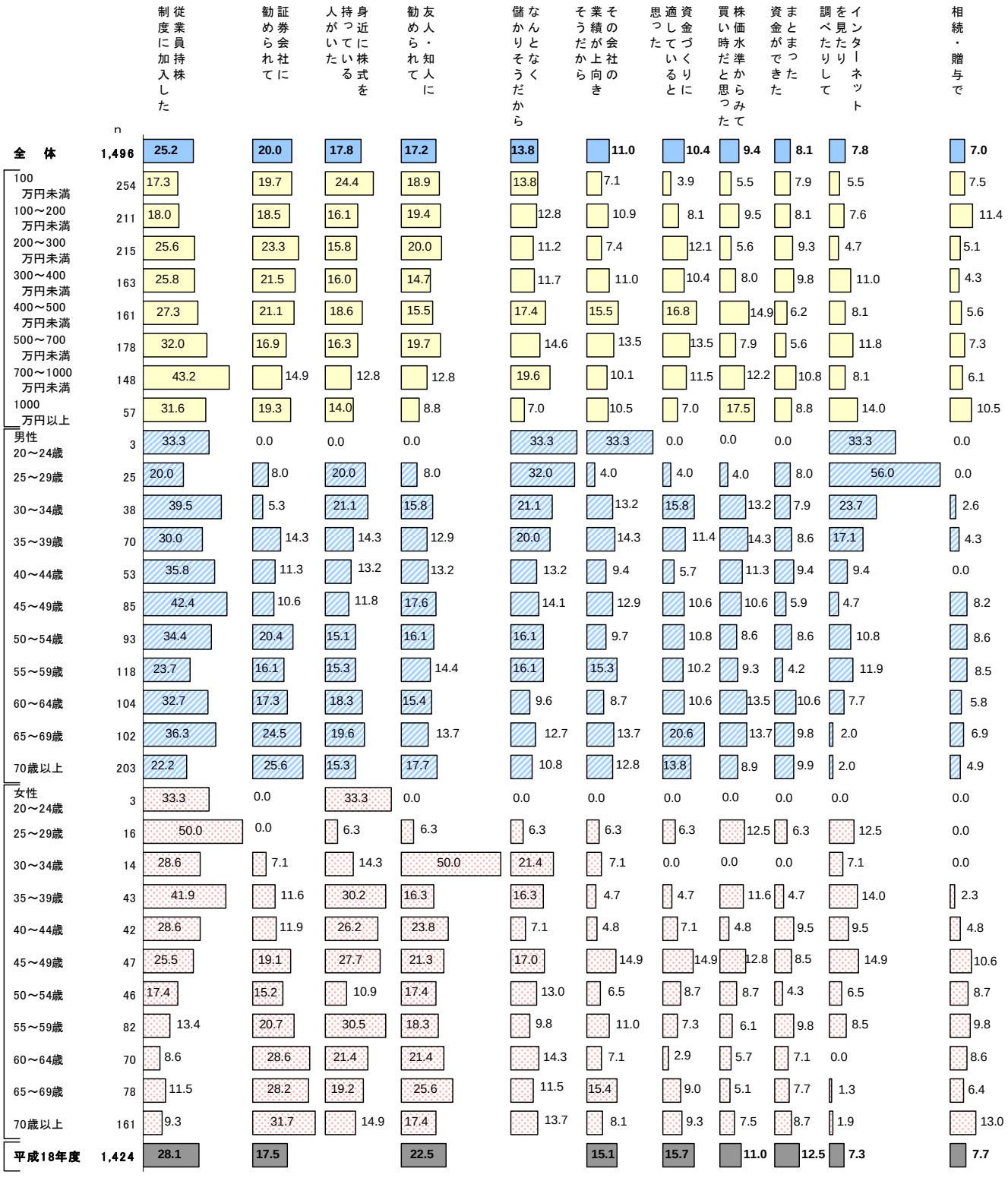
図表 4-10　以前保有の株式種類（複数回答）（問 10-2）／年収、性・年代別



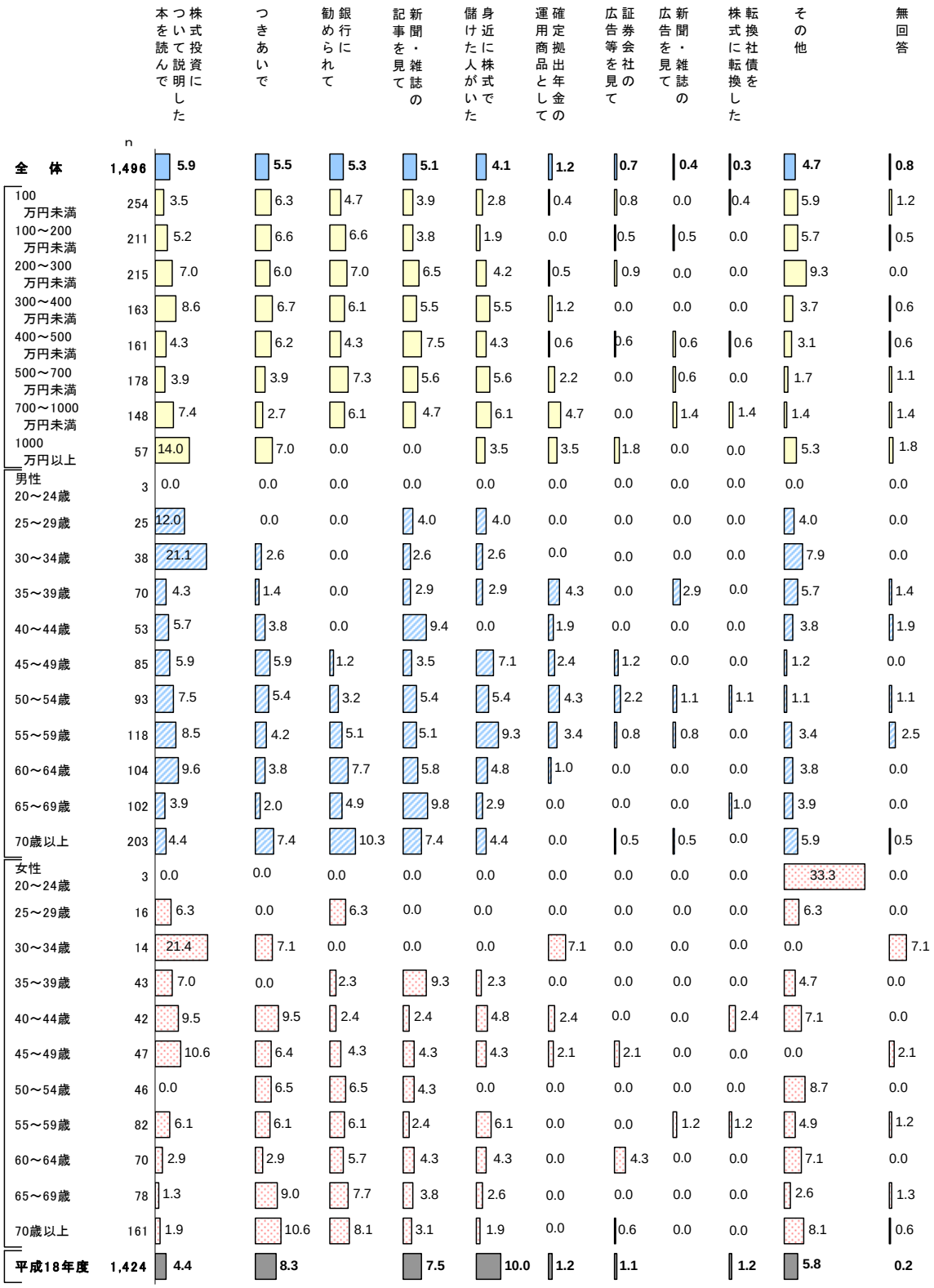
(5) 株式の購入（保有）のきっかけ（複数回答）（問 11）

- 株式の購入（保有）のきっかけで最も高いものは、「従業員持株制度に加入したので」（25.2%）であり、以下、「証券会社に勧められて」（20.0%）、「身近に株式を持っている人がいたから」（17.8%）、「友人・知人に勧められて」（17.2%）等と続く。
- 性・年代別でみると、「証券会社に勧められて」は男性 65 歳以上と女性 60 歳以上で全体に比べて高い傾向。また、サンプル数が少ないため参考程度だが、男性 25～29 歳は、「なんとなく儲かりそうだから」「インターネットを見たり調べたりして」が高いのが目立つ。

図表 4-11　株式の購入（保有）のきっかけ（複数回答）（問 11）／年収、性・年代別



*今回（H21）調査よりカテゴリー追加あり。
「銀行に勧められて」「身近に株式を持っている人がいたから」「なんとなく儲かりそうだから」
「新聞・雑誌の広告を見て」

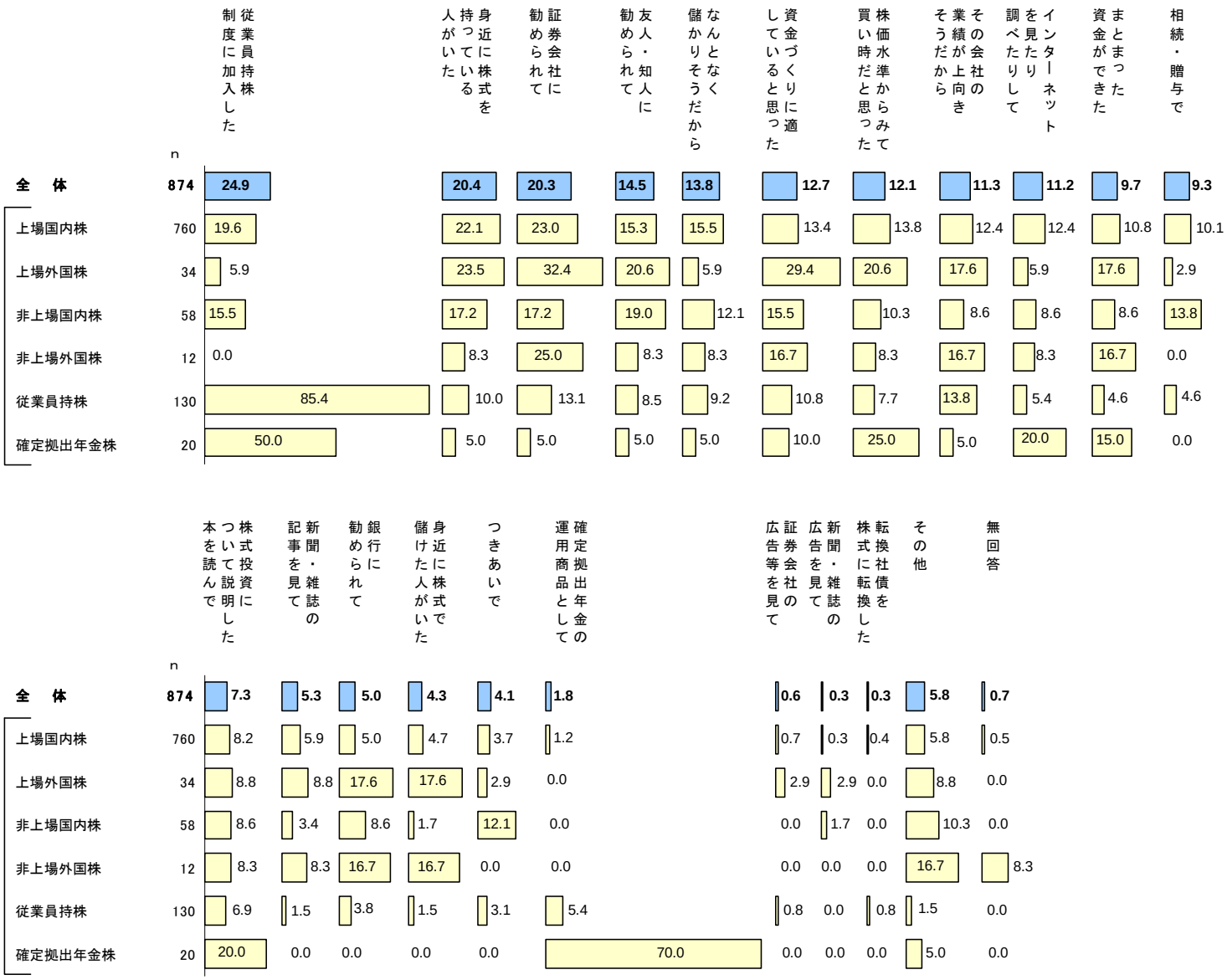


	n	株式投資について説明した本を読んで	つきあいで	銀行に勧められて	新聞・雑誌の記事を見て	身近に株式で儲けた人がいた	確定拠出年金の運用商品として	証券会社の広告等を見て	新聞・雑誌の広告を見て	転換社債を株式に転換した	その他	無回答
全　体	**1,496**	**5.9**	**5.5**	**5.3**	**5.1**	**4.1**	**1.2**	**0.7**	**0.4**	**0.3**	**4.7**	**0.8**
100万円未満	254	3.5	6.3	4.7	3.9	2.8	0.4	0.8	0.0	0.4	5.9	1.2
100～200万円未満	211	5.2	6.6	6.6	3.8	1.9	0.0	0.5	0.5	0.0	5.7	0.5
200～300万円未満	215	7.0	6.0	7.0	6.5	4.2	0.5	0.9	0.0	0.0	9.3	0.0
300～400万円未満	163	8.6	6.7	6.1	5.5	5.5	1.2	0.0	0.0	0.0	3.7	0.6
400～500万円未満	161	4.3	6.2	4.3	7.5	4.3	0.6	0.6	0.6	0.6	3.1	0.6
500～700万円未満	178	3.9	3.9	7.3	5.6	5.6	2.2	0.0	0.6	0.0	1.7	1.1
700～1000万円未満	148	7.4	2.7	6.1	4.7	6.1	4.7	0.0	1.4	1.4	1.4	1.4
1000万円以上	57	14.0	7.0	0.0	0.0	3.5	3.5	1.8	0.0	0.0	5.3	1.8
男性 20～24歳	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
25～29歳	25	12.0	0.0	0.0	4.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0
30～34歳	38	21.1	2.6	0.0	2.6	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	7.9	0.0
35～39歳	70	4.3	1.4	0.0	2.9	2.9	4.3	0.0	2.9	0.0	5.7	1.4
40～44歳	53	5.7	3.8	0.0	9.4	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	3.8	1.9
45～49歳	85	5.9	5.9	1.2	3.5	7.1	2.4	1.2	0.0	0.0	1.2	0.0
50～54歳	93	7.5	5.4	3.2	5.4	5.4	4.3	2.2	1.1	1.1	1.1	1.1
55～59歳	118	8.5	4.2	5.1	5.1	9.3	3.4	0.8	0.8	0.0	3.4	2.5
60～64歳	104	9.6	3.8	7.7	5.8	4.8	1.0	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0
65～69歳	102	3.9	2.0	4.9	9.8	2.9	0.0	0.0	0.0	1.0	3.9	0.0
70歳以上	203	4.4	7.4	10.3	7.4	4.4	0.0	0.5	0.5	0.0	5.9	0.5
女性 20～24歳	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
25～29歳	16	6.3	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0
30～34歳	14	21.4	7.1	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1
35～39歳	43	7.0	0.0	2.3	9.3	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	4.7	0.0
40～44歳	42	9.5	9.5	2.4	2.4	4.8	2.4	0.0	0.0	2.4	7.1	0.0
45～49歳	47	10.6	6.4	4.3	4.3	4.3	2.1	2.1	0.0	0.0	0.0	2.1
50～54歳	46	0.0	6.5	6.5	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.7	0.0
55～59歳	82	6.1	6.1	6.1	2.4	6.1	0.0	0.0	1.2	1.2	4.9	1.2
60～64歳	70	2.9	2.9	5.7	4.3	4.3	0.0	4.3	0.0	0.0	7.1	0.0
65～69歳	78	1.3	9.0	7.7	3.8	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	1.3
70歳以上	161	1.9	10.6	8.1	3.1	1.9	0.0	0.6	0.0	0.0	8.1	0.6
平成18年度	**1,424**	**4.4**	**8.3**		**7.5**	**10.0**	**1.2**	**1.1**		**1.2**	**5.8**	**0.2**

*今回（H21）調査よりカテゴリー追加あり。
「銀行に勧められて」「身近に株式を持っている人がいたから」「なんとなく儲かりそうだから」
「新聞・雑誌の広告を見て」

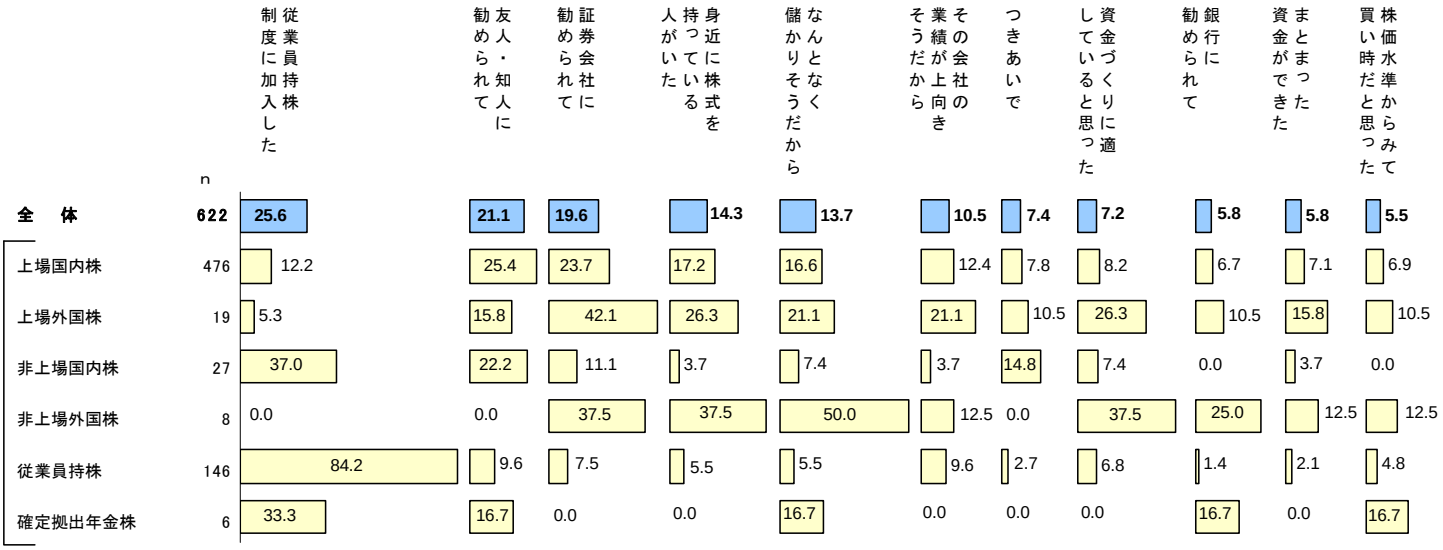
● 現在保有の株式種類（問 10-1）との関係をみると、「国内の証券取引所に上場されている外国株」現在保有者は、サンプル数は少ないので参考ではあるが、全体と比べて「証券会社に勧められて」「資金づくりに適していると思ったから」「銀行に勧められて」「身近に株式で儲けた人がいたから」が高い点が目立つ。

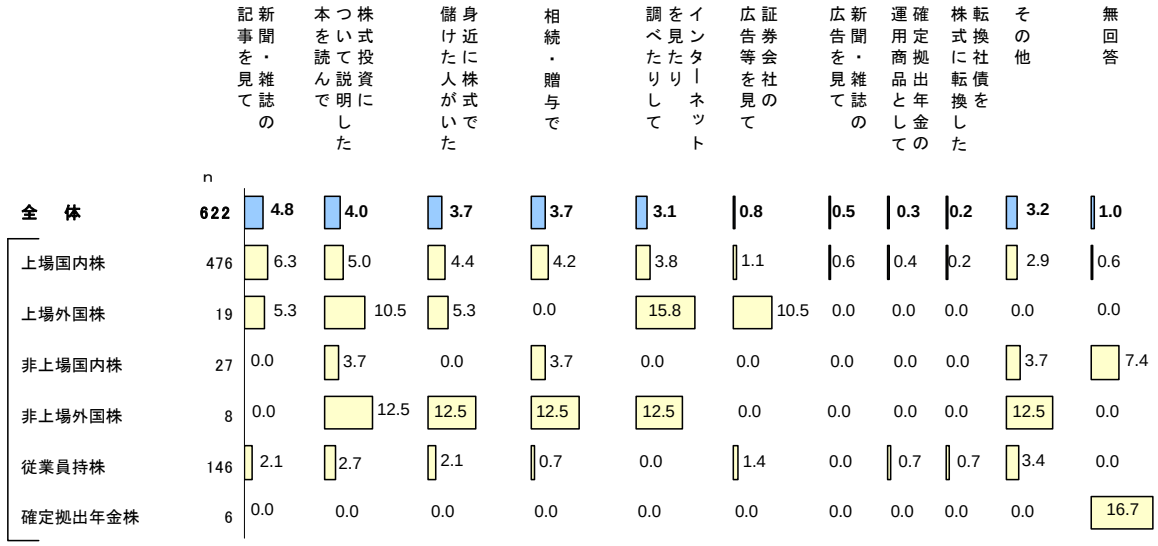
図表 4-12　株式の購入（保有）のきっかけ（複数回答）（問 11）
／現在保有の株式種類別（問 10-1）



● 以前保有の株式種類（問 10-2）との関係においては、特に目立つ点は見当たらない。

図表 4-13　株式の購入（保有）のきっかけ（複数回答）（問 11）
／以前保有の株式種類別（問 10-2）





（6）株式購入（保有）の理由（複数回答）（問 12）

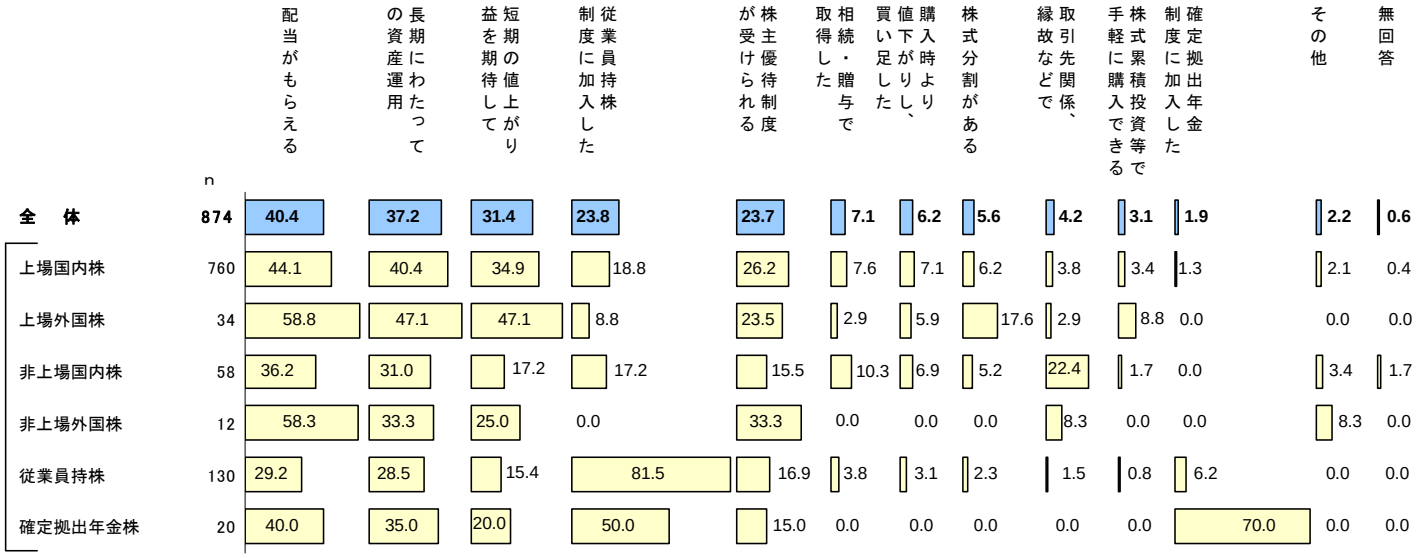
- 株式を購入（保有）した理由を尋ねたところ、「配当がもらえるから」（35.2%）、「短期の値上がり益を期待して」（34.1%）、「長期にわたっての資産運用として」（28.7%）、「従業員持株制度に加入したから」（24.8%）が上位となっている。前回と比較しても、特に大きな変化はみられない。
- 年収 1000 万円以上は全体に比べて「長期にわたっての資産運用として」「株主優待制度が受けられるから」が高い。

図表 4-14　株式購入（保有）の理由（複数回答）（問 12）／年収、性・年代別

	n	配当がもらえる	短期の値上がり益を期待して	長期にわたっての資産運用	従業員持株制度に加入した	株主優待制度が受けられる	相続・贈与で取得した	株式分割がある	取引先関係、縁故などで	購入時より値下がりし、買い足した	株式累積投資等で手軽に購入できる	確定拠出年金制度に加入した	その他	無回答
全　体	1,496	35.2	34.1	28.7	24.8	17.0	5.7	4.7	4.3	4.2	2.6	1.3	2.7	0.7
100万円未満	254	36.2	35.0	18.1	17.3	16.9	5.9	1.6	4.3	2.8	3.5	0.4	3.1	0.4
100～200万円未満	211	36.0	34.1	21.8	15.6	13.7	10.0	7.1	6.2	4.7	0.9	0.5	3.8	0.5
200～300万円未満	215	38.1	29.3	30.2	25.6	12.1	3.7	4.7	3.7	4.2	2.3	1.4	4.7	0.0
300～400万円未満	163	36.2	38.0	26.4	23.9	17.8	3.7	7.4	4.3	3.1	3.1	0.6	1.8	1.8
400～500万円未満	161	32.3	34.8	37.3	27.3	18.0	5.6	5.6	4.3	8.1	2.5	0.0	0.6	0.6
500～700万円未満	178	34.8	37.6	32.0	32.0	19.1	6.2	6.2	5.6	3.4	2.8	1.7	1.1	0.6
700～1000万円未満	148	27.7	25.7	32.4	44.6	18.9	4.7	2.7	4.7	2.7	2.7	4.1	3.4	0.0
1000万円以上	57	42.1	31.6	43.9	29.8	28.1	7.0	7.0	0.0	5.3	1.8	5.3	0.0	1.8
男性 20～24歳	3	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
25～29歳	25	4.0	40.0	28.0	20.0	16.0	0.0	4.0	0.0	4.0	8.0	0.0	8.0	0.0
30～34歳	38	36.8	36.8	31.6	39.5	23.7	2.6	0.0	0.0	5.3	5.3	0.0	0.0	0.0
35～39歳	70	27.1	32.9	27.1	31.4	22.9	2.9	0.0	2.9	4.3	5.7	7.1	2.9	2.9
40～44歳	53	30.2	26.4	26.4	37.7	22.6	1.9	1.9	1.9	1.9	3.8	1.9	1.9	0.0
45～49歳	85	27.1	29.4	27.1	44.7	12.9	7.1	3.5	2.4	2.4	2.4	2.4	3.5	0.0
50～54歳	93	32.3	33.3	31.2	33.3	26.9	5.4	3.2	9.7	3.2	0.0	3.2	1.1	1.1
55～59歳	118	31.4	35.6	36.4	26.3	13.6	6.8	6.8	0.8	2.5	4.2	1.7	3.4	0.8
60～64歳	104	33.7	33.7	34.6	31.7	17.3	5.8	7.7	4.8	5.8	2.9	0.0	1.0	0.0
65～69歳	102	43.1	31.4	31.4	32.4	17.6	4.9	8.8	2.0	11.8	1.0	0.0	2.0	0.0
70歳以上	203	36.5	35.0	36.9	21.7	11.8	4.9	7.9	6.9	3.0	1.5	1.0	2.0	1.0
女性 20～24歳	3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
25～29歳	16	25.0	18.8	6.3	62.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0
30～34歳	14	42.9	50.0	14.3	14.3	42.9	0.0	0.0	7.1	7.1	0.0	7.1	7.1	7.1
35～39歳	43	32.6	37.2	18.6	39.5	23.3	2.3	0.0	0.0	2.3	2.3	0.0	0.0	0.0
40～44歳	42	40.5	28.6	23.8	26.2	21.4	2.4	0.0	4.8	2.4	4.8	2.4	0.0	0.0
45～49歳	47	34.0	42.6	29.8	23.4	23.4	4.3	4.3	2.1	6.4	6.4	2.1	4.3	2.1
50～54歳	46	26.1	39.1	21.7	13.0	10.9	8.7	6.5	0.0	2.2	2.2	0.0	4.3	0.0
55～59歳	82	42.7	29.3	26.8	13.4	19.5	8.5	9.8	2.4	4.9	3.7	0.0	2.4	1.2
60～64歳	70	40.0	31.4	27.1	8.6	14.3	8.6	1.4	7.1	0.0	1.4	0.0	1.4	0.0
65～69歳	78	37.2	46.2	21.8	10.3	15.4	5.1	1.3	6.4	3.8	0.0	0.0	7.7	0.0
70歳以上	161	44.7	32.9	22.4	9.3	11.2	9.3	4.3	8.1	6.2	2.5	0.0	4.3	0.6
平成18年度	1,424	37.1	36.0	31.7	28.4	16.8	6.6	7.2	5.8	4.1	3.5	1.1	3.2	0.2

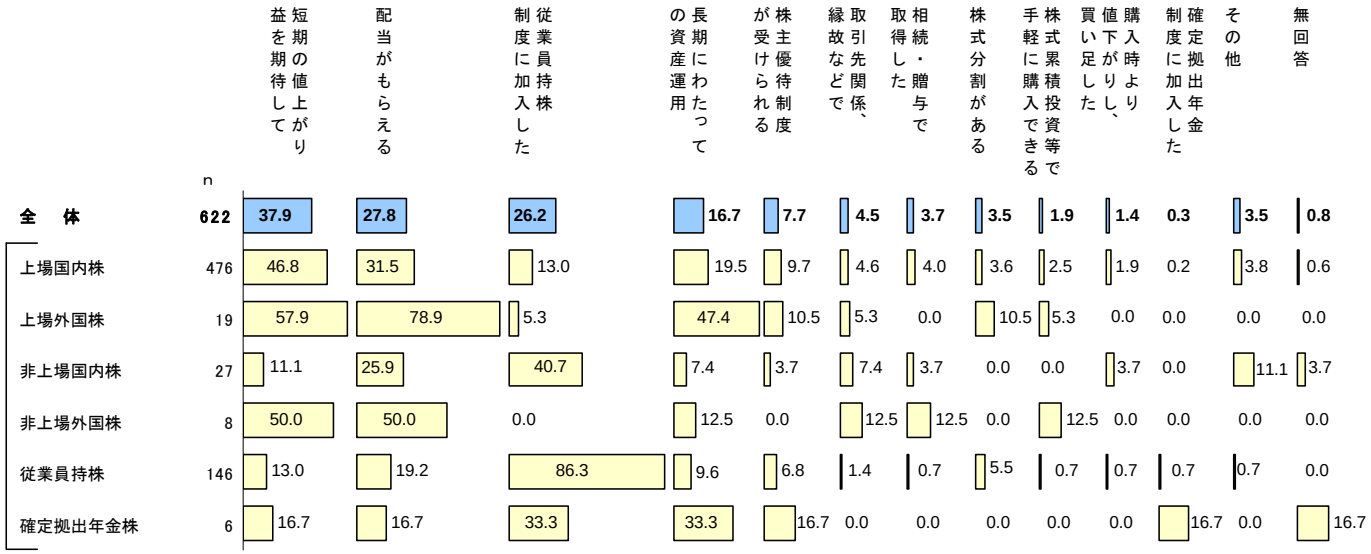
● 現在保有の株式種類（問 10-1）との関係をみると、「国内の証券取引所に上場されている外国株」の現在保有者は、サンプル数が少ないため参考程度だが、全体と比べて「配当がもらえるから」（58.8%）、「短期の値上がり益を期待して」（47.1%）が高いのが目立つ。

図表 4-15　株式購入（保有）の理由（複数回答）（問 12）／現在保有の株式種類別（問 10-1）



● 以前保有の株式種類（問 10-2）との関係をみると、「国内の証券取引所に上場されている国内株」の以前保有者は全体と比べて、「短期の値上がり益を期待して」（46.8%）が高いのが目立つ。

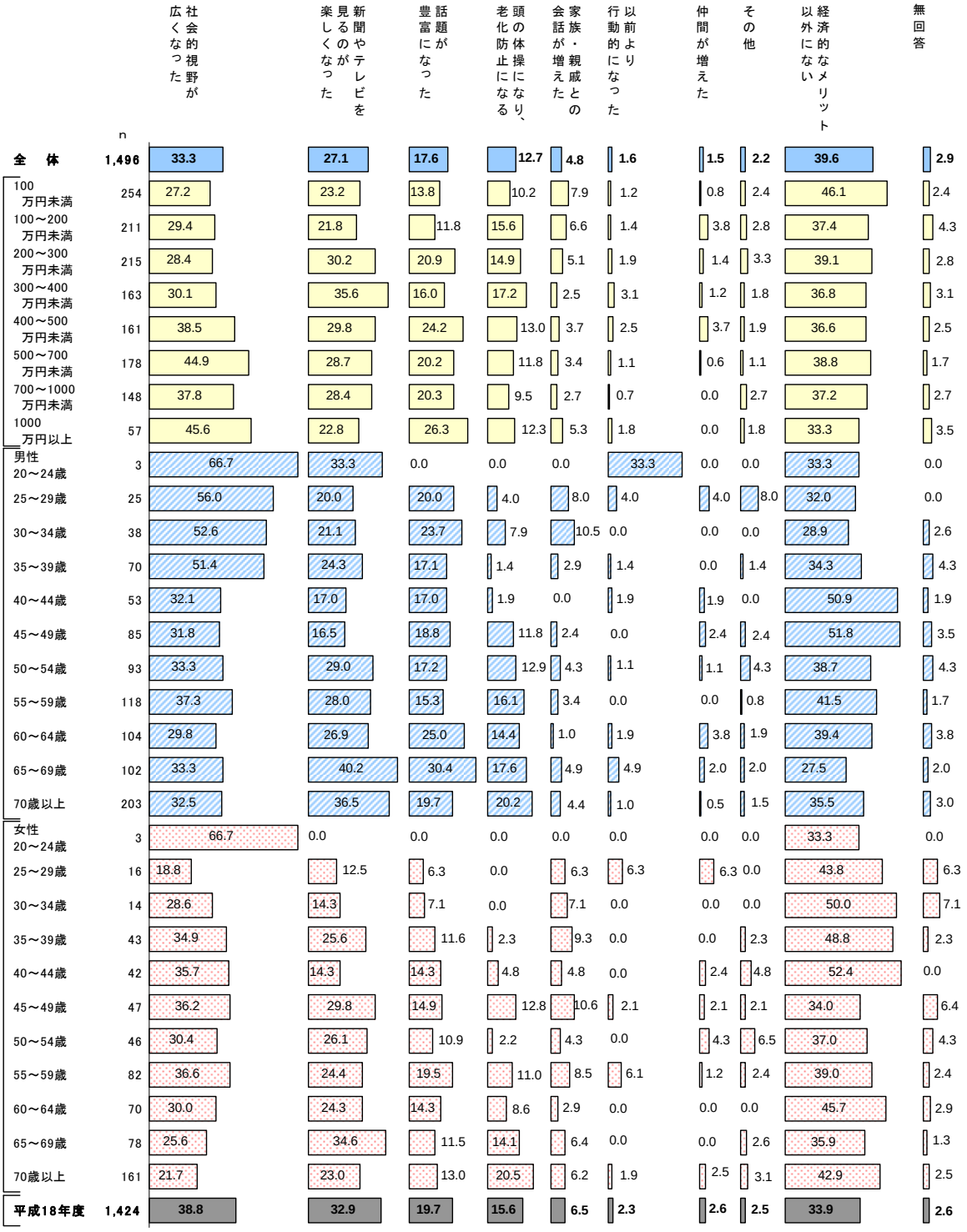
図表 4-16　株式購入（保有）の理由（複数回答）（問 12）／以前保有の株式種類別（問 10-2）



(7) 株式投資をして良かったと感じること（複数回答）（問 13）

- 経済的なメリット以外で株式投資をして良かったと感じることは、「社会的視野が広くなった」（33.3%）、「新聞やテレビを見るのが楽しくなった」（27.1%）などが挙げられる一方、「経済的なメリット以外に良かったと感じることはない」は 39.6%である。前回と比べると、「社会的視野が広くなった」「新聞やテレビを見るのが楽しくなった」はともに減少し、「経済的なメリット以外に良かったと感じることはない」は増加している。
- 全体と比べて性・年代別で高いものは、男性 25～39 歳が「社会的視野が広くなった」、男性 65 歳以上が「新聞やテレビを見るのが楽しくなった」、男性 65～69 歳の「話題が豊富になった」などである。その一方、男性 40 代は「経済的なメリット以外に良かったと感じることはない」が 5 割強と高いのが目立つ（男性 25～34 歳はサンプル数が少ないので参考程度）。

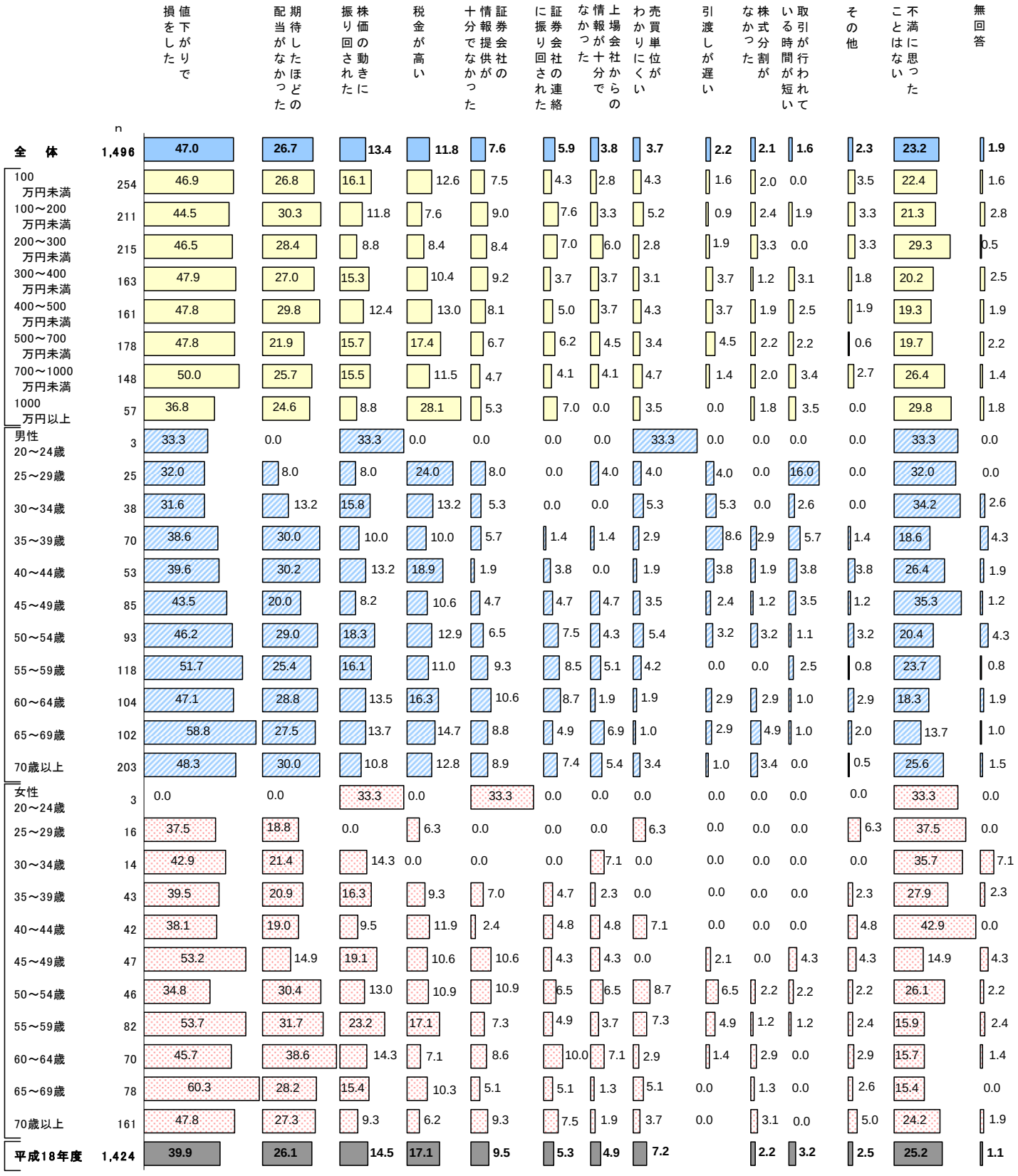
図表 4-17　株式投資をして良かったと感じること（複数回答）（問 13）／年収、性・年代別



（8）株式投資の不満点（複数回答）（問 14）

● 株式投資の不満点については、「値下がりで損をした」が 47.0%と最大の不満点で、以下、「期待したほどの配当がなかった」（26.7%）、「株価の動きに振り回された」（13.4%）「税金が高い」（11.8%）と続く。一方、「不満に思ったことはない」は 23.2%である。前回と比較すると、「値下がりで損をした」が増大した点が目立つ。

図表 4-18　株式投資の不満点（複数回答）（問 14）／年収、性・年代別

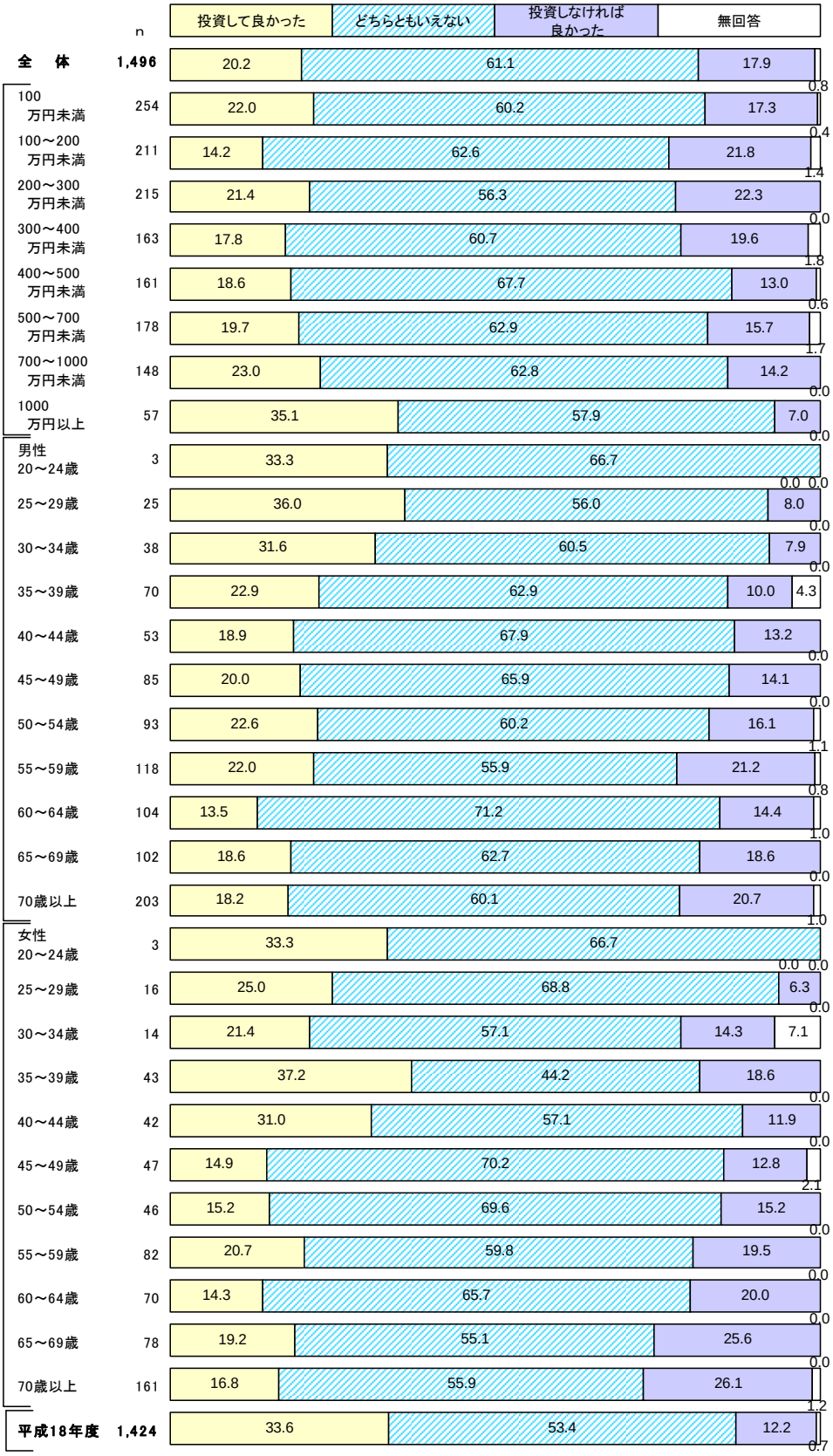


*今回（H21）調査よりカテゴリー追加あり。
「引渡しが遅い」

(9) 株式投資の満足度（問 15）

- 結果的に株式投資をして良かったと思うか尋ねたところ、「どちらともいえない」が 61.1%と６割強を占めている。「投資して良かった」（20.2%）と「投資しなければ良かった」（17.9%）は同程度である。前回と比較すると、「投資して良かった」は 33.6%から 20.2%に大きく減少した。
- 年収 1000 万円以上で「投資して良かった」が高く、サンプル数は少ない年齢もあるので参考程度だが、男性若年層は全体と比べて「投資して良かった」が高い傾向がみられる。

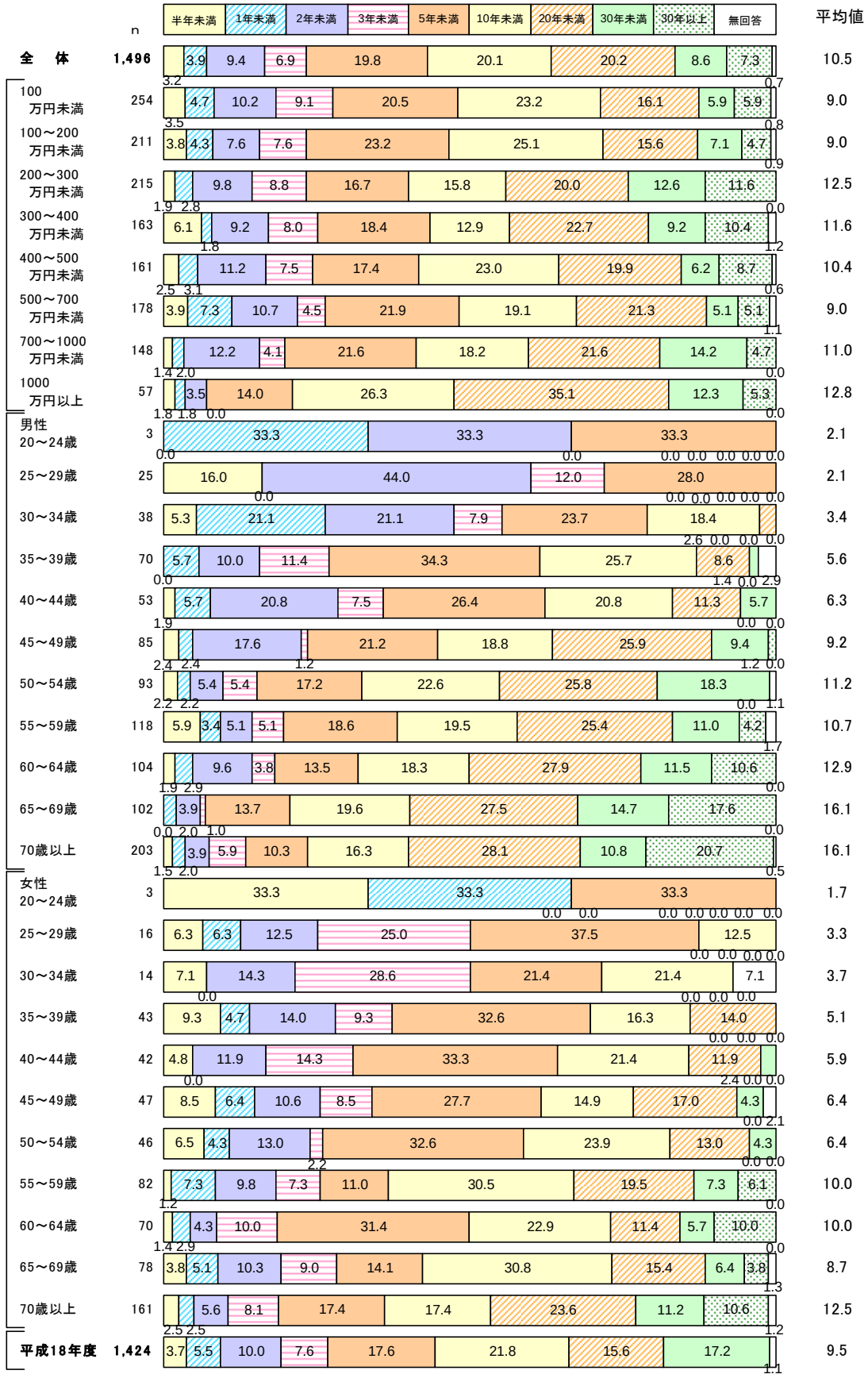
図表 4-19　株式投資の満足度（問 15）／年収、性・年代別



（10）株式投資の経験年数（中断時期を除く）（問 16）

● 株式投資の経験年数（中断時期を除く）をみると、「（３年以上）５年未満」「10 年未満」「20 年未満」がそれぞれ２割、合計６割となる。「３年未満（計）」は２割強である。

図表 4-20　株式投資の経験年数（中断時期を除く）（問 16）／年収、性・年代別



*今回（H21）調査よりカテゴリー細分化。
前回「20 年以上」、今回「30 年未満」「30 年以上」